

**光学ファインダーによる本格的な撮影を実現  
高速連写と高画質を両立したデジタル一眼レフカメラ“EOS 90D”を発売**

キヤノンは、光学ファインダーによる本格的な写真表現を求めるハイアマチュアユーザーのニーズに応えるデジタル一眼レフカメラ“EOS 90D”を2019年9月中旬より発売します。



**EOS 90D**  
\* EF-S18-135mm F3.5-5.6 IS USM 装着時

“EOS 90D”は、「EOS 80D」(2016年3月発売)の後継機種で、新開発のCMOSセンサーと映像エンジンDIGIC 8の組み合わせにより、キヤノンのAPS-CサイズCMOSセンサー搭載のデジタルカメラにおいて最高レベルの画質を実現しています。また、高速連写やファインダー撮影時の顔認識、動画撮影などの性能も向上しており、快適な撮影を実現しています。

**■ 光学ファインダーでの最高約10コマ/秒の高速連写**

視野率約100%<sup>※1</sup>の光学ファインダーにより、リアルタイムに被写体の確認ができます。また、動く被写体に対しても優れた捕捉性能を発揮する「オールクロス45点AF<sup>※2</sup>」に加え、最高約10コマ/秒の高速連写を実現し、スポーツや動物など動きの速い被写体を快適に撮影できます。

**■ 約3250万画素CMOSセンサーと映像エンジンDIGIC 8による高画質**

キヤノンのAPS-CサイズCMOSセンサー搭載のデジタル一眼レフカメラにおいて最高となる有効画素数約3250万画素<sup>※3</sup>のCMOSセンサーと、映像エンジンDIGIC 8の組み合わせにより、ノイズの少ない高い解像感を実現しています。画像の一部を切り出すトリミングによる部分拡大でも高画質な画像を得ることができます。

**■ 動体撮影など幅広いシーンに対応する高速AF**

約22万画素の新測光センサーと映像エンジンDIGIC 8により、ファインダー撮影時に被写体の顔を検知して追尾する「EOS iTR<sup>※4</sup> AF」が可能で、顔検知により人物の合焦率が向上するとともに、動きの速い被写体でも高精度に追従します。また、各画素が撮像と位相差AFの両方の機能を兼ねる「デュアルピクセルCMOS AF」を搭載しており、ライブビュー撮影においても、高速・高精度な合焦が可能です。加えて、被写体の瞳を検知してフォーカスを合わせる「瞳AF<sup>※5</sup>」が、ライブビュー撮影時、サーボAF/動画サーボAF時においても使用可能です。

製品名	希望小売価格	発売日
EOS 90D	オープン価格	2019年9月中旬

※1 アスペクト比率3:2の場合。  
 ※2 装着するレンズやアスペクト比の設定により、測距点数、クロス測距点数、デュアルクロス測距点数が変動。  
 ※3 総画素数約3440万画素。  
 ※4 intelligent Tracking and Recognition。測距エリア選択モードが「ゾーンAF」、「ラージゾーンAF」、「自動選択AF」時に機能。  
 ※5 「顔+追尾優先AF」時に機能。ワンショットAF、サーボAF、動画サーボAFで使用可能。初期設定では、カメラに近い方の目を自動選択します。同程度の距離の場合には、画像中央に近い方の瞳が自動選択されます。手動で任意の瞳を選択することも可能。

● 一般の方のお問い合わせ先： キヤノンお客様相談センター 050-555-90002  
 ● EOS ホームページ : canon.jp/eos

## <主な特長>

### 1. 光学ファインダーによる最高約 10 コマ/秒の高速連写

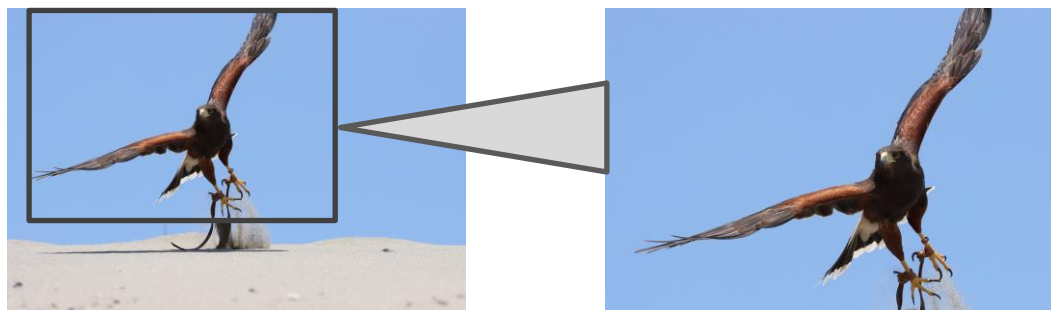
- ・視野率約 100%（アスペクト比率 3：2 の場合）の光学ファインダーにより、リアルタイムに被写体の確認が可能。
- ・動く被写体に対しても優れた追従性能を発揮する「オールクロス 45 点 AF」を採用。
- ・ファインダー撮影時に最高約 10 コマ/秒を実現。また、ライブビュー撮影時には、最高約 11 コマ/秒<sup>※1</sup>の高速連写が可能。スポーツや動物など動きの速い被写体を快適に撮影。
- ・ファインダー撮影時に最短で 1/8000 秒のメカシャッタースピード、ライブビュー撮影時には最短で 1/16000 秒の電子シャッタースピードを実現。被写体ブレや手ブレの軽減に貢献。
- ・キャノンのレンズ交換式カメラ EOS シリーズとして初めて、ライブビュー撮影時に加えて光学ファインダーでも活用できる「流し撮りアシスト」機能を搭載。流し撮りに最適なシャッタースピードが自動設定されるため、被写体の背景を流した写真が簡単に撮影可能。流し撮り対応レンズ<sup>※2</sup>使用時は、被写体ブレを抑制。

※1 AF 固定時。

※2 対応レンズは、「EF24-105mm F4L IS II USM」、「EF70-200mm F4L IS II USM」、「EF85mm F1.4L IS USM」、「EF-S18-135mm F3.5-5.6 IS USM」。

### 2. 約 3250 万画素 CMOS センサーと DIGIC8 による高画質を実現

- ・キャノンの APS-C サイズ CMOS センサー搭載のデジタルカメラにおいて、最高となる有効画素数約 3250 万画素の CMOS センサーと、映像エンジン DIGIC 8 の組み合わせにより、ノイズの少ない高い解像感を実現。画像の一部を切り出すトリミングによる部分拡大でも高画質な画像を得ることが可能。



切り出し時も解像感のある写真

- ・静止画撮影時に、最高 ISO25600 の常用 ISO 感度（拡張時：51200 相当）を実現。室内や夜景などの暗いシーンでも高画質な撮影が可能。

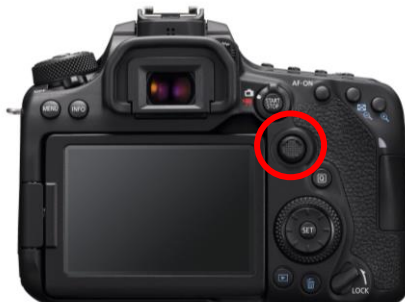
### 3. 動体撮影など幅広いシーンに対応する高速 AF

- ・約 22 万画素の新測光センサーと映像エンジン DIGIC 8 により、ファインダー撮影時に顔検出が可能。肌色が検知しにくいシーンでも顔を検出し、露出を補正。顔認識後、被写体の顔を検知して追尾する「EOS iTRAF」で、動きが速い被写体でも高精度に追従。
- ・各画素が撮像と位相差 AF の両方の機能を兼ねる「デュアルピクセル CMOS AF」を搭載しており、デジタル一眼レフカメラでありながらライブビュー撮影においても、対応する交換レンズ装着時<sup>※</sup>には、撮像面の約 100%（縦）×約 88%（横）の測距エリアに拡大し、最大 143 分割の測距点で高速・高精度な合焦を実現。
- ・被写体の瞳を検出してフォーカスを合わせる「瞳 AF」が、ライブビュー撮影時、サーボ AF/動画サーボ AF 時においても設定可能。動きのある被写体の瞳を追従。

※ 詳細はキャノン公式ホームページをご参照ください。

#### 4. 高速連写や高速 AF の性能を引き出す優れた操作性

- ・カメラ背面に AF フレーム選択などの各種設定がより直感的に行える「マルチコントローラー」を搭載。「測距点の選択」をマルチコントローラーでファインダーをのぞきながらも親指で操作することが可能。



マルチコントローラー

- ・シャッターボタンは、上位機種に搭載されている機構を採用。半押しと全押しで圧力が変化し、中間のポジションで待機してレリーズを繰り返すことが可能なため、連続撮影時も疲れにくい操作感を実現。
- ・従来機種である「EOS 80D」と同じバッテリーグリップ「BG-E14」（別売り）に対応。縦位置で撮影する際も、より安定した姿勢での撮影が可能。
- ・タッチ操作で撮影設定や静止画・動画再生などを容易に行うことができるバリエーション式液晶モニターを搭載。

#### 5. 表現の幅を広げる高品位な動画撮影機能

- ・「デュアルピクセル CMOS AF」に対応したクロップ（切り出し）のない 4K/30p 動画<sup>※1</sup>の撮影を実現。風景などのシーンにおいて、レンズ本来の画角を生かした動画撮影が可能。また、設定を変更することで、クロップした 4K 動画の撮影に対応し、クローズアップした迫力のある撮影が可能。
- ・フル HD/120p のハイフレームレートでの動画撮影を実現<sup>※2</sup>。フレーム数が高くなるため、被写体が速く動くシーンでも、スロー再生で滑らかな動きを表示することが可能。

※1 4K (29.97fps/25.00fps)。画像処理により、4K (UHD) 解像度での出力としております。

※2 フル HD (119.88fps/100.00fps)。ハイフレームレート動画撮影時は、画角が狭くなります。記録中は AF 固定。

#### 6. 撮影後の楽しみを広げるネットワーク連携とアプリケーション

- ・スマートフォン（スマホ）などの携帯端末への接続手段として、Wi-Fi/Bluetooth との接続に対応<sup>※1, 2</sup>。初回にペアリング設定をすることで、カメラとスマホ使用時に Bluetooth で自動的に接続が可能。また、画像転送時は、Bluetooth から Wi-Fi へ自動的に切り替わるため、カメラ側での手動の Wi-Fi 接続操作が不要となり、簡単に画像送信することが可能。
- ・Wi-Fi に接続されているスマホに撮影と同時に画像を自動送信できる「撮影時画像自動送信」を搭載<sup>※2, 3</sup>。動画送信時にはカメラ側で 4K 動画をフル HD に変換して送信することで、4K 動画に対応していないスマホでも再生可能<sup>※4</sup>。
- ・キヤノン製の iPad 用画像編集アプリケーション「Digital Photo Professional Express<sup>※5</sup>」を使用することで、色やディテールの調整など RAW 現像による作品づくりを楽しむことが可能。

※1 Bluetooth low energy 技術に対応。以降の表記においては Bluetooth と記載。Bluetooth 機能の動作条件は、接続機器が iOS/Android :Bluetooth 4.0 以上を搭載するデバイスです。ただし、上記の動作条件を満たす機器であっても、機種によっては、Bluetooth 接続ができない場合があります。Bluetooth 接続ができない場合、一部の位置情報付与の機能が使用できません。Bluetooth 接続ができない場合でも、機器と Wi-Fi 接続による画像の転送、リモート操作は可能です。なお、Bluetooth 接続には、事前にカメラと携帯端末をペアリングさせておく必要があります。

※2 カメラと携帯端末の Wi-Fi や Bluetooth での接続には、キヤノン専用アプリケーション「Camera Connect」のインストールが必要。「Google Play」「App Store」より無料でダウンロードが可能。

※3 オリジナルデータ (JPEG) やリサイズした縮小画像が送信可能です。

※4 4K 動画のまま転送することも可能ですが、スマホによっては再生できない場合があります。

※5 2019 年 10 月公開予定のバージョン 1.2 から有償となります。

## <商品構成（キット内容）>

名称	内容
EOS 90D・ボディー	EOS 90D（ブラック）
EOS 90D・ EF-S18-135 IS USM レンズキット	EOS 90D（ブラック） EF-S18-135mm F3.5-5.6 IS USM

## <レンズ交換式カメラの市場動向>

2018年の世界のカメラ市場におけるレンズ交換式カメラの販売台数は、約1,030万台となりました。2019年は、約860万台を見込んでいます。（キヤノン調べ）

## <主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。

- \* Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WPA™、WPA2™および Wi-Fi Protected Setup™は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- \* Google Play は、Google LLC の商標です。
- \* App Store は、Apple Inc.の商標です。
- \* Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、キヤノン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- \* その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。